



北條寺 山門1



北條寺 山門2

伊豆の国市 南江間の北條寺(写真上左右)で黄色の可憐な花びらのロウバイが開花し始めました。令和2年2月2日(日曜日)甘い香りの漂っているロウバイ観賞と、県文化財に指定されている北條寺の「阿弥陀如来像」、そして今回初公開の北條政子が奉納した「牡丹鳥獸文繍帳」の拝観と取材に行ってきました。



北條寺 本堂



北條寺 案内

山門を通り抜けると、臨済宗建長寺派 巨徳山 北條寺の本堂が現れます(写真上左右)。北條寺は鎌倉幕府創立に功績のあった北條時政の子息、義時(江間 小四郎)が創建した寺院です。境内にある「小四郎山」と呼ばれる丘の上には、北條義時 夫妻の墓があり参拝出来ます。



遊歩道1



遊歩道2



遊歩道3

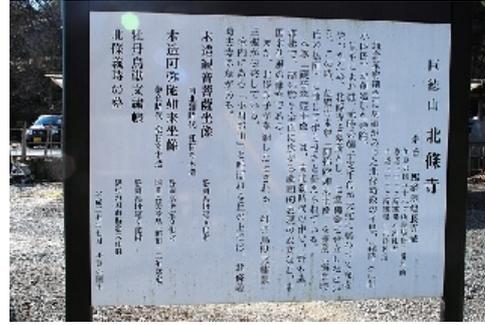


遊歩道4

北條寺境内から「小四郎山」に向かう300mの遊歩道沿いには約250本のロウバイが植栽されています。現在(2月2日)は3部咲き(写真上4枚)ですが、2月中旬には満開で見事なロウバイが観賞できるそうです。



[北條義時夫妻の墓](#)



[案内掲示板](#)

ほのかに甘い香りの漂っているロウバイの花を楽しみ、そして観賞しながら遊歩道をゆっくり歩くこと20分、小四郎山に到着しました。

この丘の上には北條義時 夫妻の墓があります(写真上左)。北條義時は「承久の変」の3年後、元仁元年(西暦1224年)62歳で急死、北條氏発祥の地であるこの寺に墓が建てられました。なおこの墓の向かって右側が義時、左側が妻の墓です。



[本堂入り口](#)



[本堂内展示1](#)



[本堂内展示2](#)



[本堂内展示3](#)

本堂内には北條寺の巡礼絵馬など数多く展示されており、多くの参拝、鑑賞客でにぎやかになってきました。



[本堂内展示4](#)



[本堂内展示5](#)

今回初公開の北條政子が奉納した「牡丹鳥獸文繡帳」で(写真上左右)現在は県指定文化財となっています。本作は元々1枚の織物でしたが時を経て裁断され、現在は3枚で保存されています。今回はそのうちの2枚が展示されています。

植物(牡丹、椿、芙蓉、菊など)と龍、鳥などを組み合わせた意匠から中国明時代の織物の特徴が見られ、室町時代後期に中国から日本に入ってきた舶来品であると考えられているようです。



[本堂内展示6](#)

北條義時が鎌倉時代の仏師 運慶に作らせた県指定文化財、国重要美術品の「阿弥陀如来坐像」です(写真上左右)。



[本堂内展示7](#)

当 北條寺境内にはロウバイの花の他、季節により白い彼岸花、桃の花などが観賞できます。また観音菩薩坐像(県指定文化財)も鑑賞できます。そして2月中旬が、黄色い可憐な花…ロウバイの満開時期です。是非お立ち寄りください。

#### 北條寺へのアクセス

- ・所在地: ☎410-2221 伊豆の国市 南江間862-1
- ・交通アクセス: ①一般交通機関⇒伊豆長岡駅からバス15分
- ②マイカーで⇒沼津ICから車で30分

取材 : 中伊豆地区 生きがい特派員 安藤智章